

# モデル事業 in 「ほほえみの里」実施結果

日時：平成 27 年 11 月 2 日（月）、11:00~15:00

場所：介護老人保健施設「ほほえみの里」

宮古市崎鍬ヶ崎第 9 地割 39-27 電話 0193-64-3311

《参加対象者》「ほほえみの里」入所者約 50 名



開会の挨拶をする県理容組合 湊理事長

5 組合の皆さんに参加いただきました。



すし組合の皆さん



中華料理組合の皆さん



食肉組合の皆さん



興行組合



美容業組合の皆さん



ネイルのサービスを受ける参加者



綺麗になって、喜びの参加者



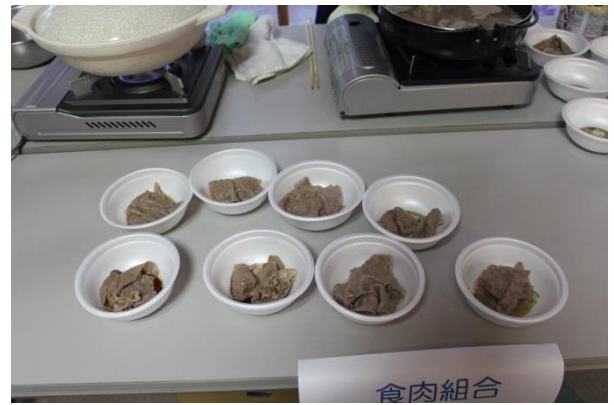
目の前で、握っていただきました。



すし組合から、握り寿司を提供いただきました。



中華料理組合から、「ラーメン」を提供いただきました。



食肉組合から、「しゃぶしゃぶ」を提供いただきました。



しゃぶしゃぶ (ぼん酢)



しゃぶしゃぶ (ごまダレ)



皆さんで、楽しく食べていただきました。





閉会式（堀田 宮古地区生活衛生同業組合連絡協議会会長に挨拶いただきました）



閉会式後、2階ホールで映画を上映しました。



興行組合から、「男はつらいよ ~虎さん~」を提供いただきました。

# 美容師ら腕振るう

宮古の介護施設 お年寄り笑顔に

県理容生活衛生同業

組合(湊正美理事長)

は2日、宮古市の介護老人保健施設「ほほえみの里」で、お年寄りらに理美容のサービスを無料で提供し、すしなどを振る舞う「岩手セイエイ百貨店」を開いた。東日本大震災後、身なりや食べ物に気を使うことが少なかったお年寄りたちは「きれいになった。おなかもいっぱいになった」と

喜んだ。

高齢化社会への貢献を目指し、組合が国の補助金を得て今年度は北上市と盛岡市に続いて実施。宮古地区の美容やすし、中華料理など5組合員の約20人が腕を振るった。

美容コーナーでは、車いすのお年寄りらが鏡の前に進んで髪を整えてもらったり、爪も磨いてもらったりしていた。体が不自由でデ



美容師(右)から髪を手入れしてもらい、「きれいになった」とうれしそうに鏡をのぞく大須賀照子さん—宮古市の介護老人保健施設「ほほえみの里」で

イサービスを利用して  
いる大須賀照子さん  
(78)は「震災では自宅  
を失った。あれ以来、  
こんなにかいになっ  
たのは初めて。写真に

撮って遺影にしたいく  
らい」とうれしそうに  
笑って鏡をのぞいた。  
お年寄りたちは、に  
ぎりずしやラーメン、  
しゃぶしゃぶを味わ

い、みやこシネマリー  
ンによる映画「男はつ  
らいよ」を見て楽しん  
だ。  
【鬼山親芳】